

地域の皆さまと病院をつなぐ

GoRoMaRu DaYoRi

ごろまるだより

2024 秋号

ごろまるだより 2024 秋号 発行所 株式会社 日本医療企画 中部支社 TEL.0568-62-8111 季刊4回発行 2024年10月1日発行 通巻133号 編集 発行人/社会医療法人 志聖会 総会 犬山中央病院 〒484-8511 愛知県犬山市大字五郎丸字ニ夕子塚6 TEL.0568-62-8111

Topics

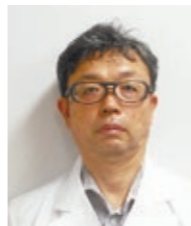
ごろまる医療のチカラ
適確な内視鏡診断と治療で
地域住民の消化器がんの数を減らす
副院長・消化器内科 部長 小澤俊文

Topics

胃カメラ検査の重要性
進化している内視鏡治療

- 地域連携支援センターからのお知らせ
・台湾BSC学会 齋藤院長 落合副センター長
地域医療センターチーム医療強化
地域で選ばれる地域連携支援センターに
- 健康管理センターからのお知らせ
・「特定保健指導」を受けてみませんか
- 第19回ごろまるだより表紙写真コンテスト審査結果発表
- 新任着任医師のご紹介 ●糖尿病教室のお知らせ ●職員BLS研修

新任着任医師のご紹介



リハビリテーション科 医師
杉本 友宏
(すぎもと・ともひろ)
日本整形外科学会整形外科専門医
日本リハビリテーション医学会認定
リハビリテーション科専門医

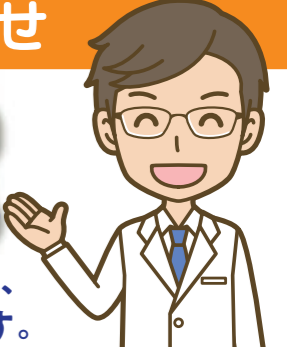
message

2024年8月1日着任
こんにちは。私はもともと愛知医科大学整形外科出身です。ここ8年間はリハビリテーション科の医師として、整形外科および脳神経外科の術後患者さんの活動性向上のために勤務しています。犬山市の地域医療に貢献できるよう、頑張ります。

2024年度糖尿病教室のお知らせ



糖尿病教室



私たちは、糖尿病患者さんと患者さんご家族の方が、糖尿病と上手に付き合う方法を探お手伝いをします。

10月24日(木)・12月26日(木)・2025年2月27日(木)

13:00～ 当院北館3階大会議室にて開催

各回の所要時間は20～30分程度です

※上記の予定は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

【お問い合わせ】糖尿病ケアサポート委員会 TEL.0568-62-8111(代表)



職員BLS研修を行いました

2024年6月～7月、数回に渡り、当院にて職員BLS研修を行いました。この研修では①施設内での急変対応を知る。②一次救命措置を正しく理解できる。③院内の急変時の連絡方法を知る。以上の3点を目的としてしています。今回は、「接触からの安全確認、感染防御、意識の確認、声かけ」、「脈、呼吸の確認」、「正しい胸骨圧迫ができる」、「AEDを正しく操作できる」を重点的に動画を見ながら、インストラクターと一緒に行いました。



胸骨圧迫について、位置や深さ、リコイルや速さなど難しいところもありましたが、最後にはほとんどの職員が正しくできるようになりました。AEDも正しく操作できる前に、まずどこに置いてあるのかの確認を再度することができ、充実した研修となりました。地域の救急医療を守り貢献するため、今後も精進していきます。

総合犬山中央病院 理念

地域の人々が安心して暮らせる心の支えとなる病院を目指します



救急は24時間365日受け付けています。

当院は敷地内全面禁煙です。(屋内屋外含め全て禁煙)

社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院

〒484-8511 愛知県犬山市大字五郎丸字ニ夕子塚6
TEL.0568-62-8111
<https://www.inuyamachuohospital.or.jp>

適確な内視鏡診断と治療で、 地域住民の消化器がんの数を減らす

副院長
消化器内科 部長
小澤 俊文



消化器内科では、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸等から、肝臓、胆嚢、膵臓などの診断、治療を行っています。総合犬山中央病院は地域の医療機関、介護施設との連携も充実しており、症例検討会や市民公開講座など積極的に開催しています。地域住民の方へ受診しやすい環境が整っています。今回は、内視鏡について多く寄せられている質問等について小澤俊文先生にお話をお伺いしました。

**お腹の症状が少しでも
気になったら是非、受診を**

— 消化器内科の診療内容及び特徴についてお教えてください。

小澤 当科は常勤が4人いますが、そのうち消化器内視鏡の専門医が3人います。消化管いわゆる管を中心とした、食道癌、胃癌、大腸癌の内視鏡治療をメインに診療しています。他の病院と比べて何か特殊なことをやっているかというようなことはなく、同じように水準が保たれています。また、実臨床で肝臓の組織を取ったり、肝炎治療をしたり、胆嚢機能を調べたり、結石を除去したりもしています。

— 胃カメラを受けることの苦痛や恐れがあるのですが。

小澤 素面で受ければ鼻からだろうが、口からだろうが、どちらからでも苦痛や気持ち悪さがあるのは自然な生体反応です。「えずく」という表現が、当てはまるのかもしれない。むしろ、なにもそういった症状を訴えないの方が、問題なのです。中には、まったく反応が無い方がたまにいらっしゃ

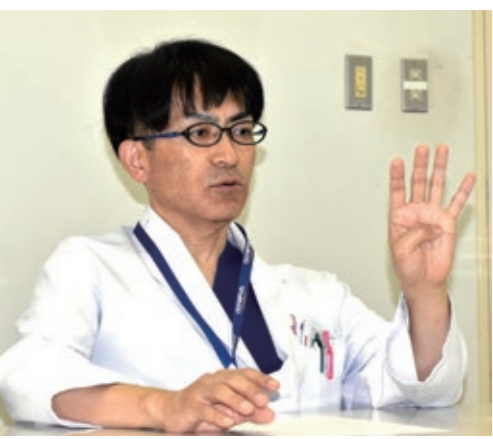
いますが、むしろ誤嚥性肺炎のリスクが心配されます。

— 経口内視鏡と経鼻内視鏡の違いは何ですか。

小澤 食道や胃を観察する上部消化管内視鏡検査には、経鼻内視鏡の方が経口内視鏡検査よりも、苦痛が少ない、つまり嘔吐反射が少ないと思います。

— 内視鏡のチューブの太さの違いはありますか。

小澤 経鼻内視鏡検査で使用される内視鏡の直径は5・8㎜であり、通常の経口内視鏡の9㎜と比較して約半分ほどの太さです。皆さん、太さの影響と思いがちのようですが、実は、内視鏡検査時の苦痛は、内視鏡を挿入する際の中咽頭(のど)の奥の壁への刺激の強さが原因の1つと考えられています。



す。鼻からではそこにあたらぬので苦痛が少ない(えずかない)のです。

— 内視鏡の画質の違いはありますか。

小澤 今までの経鼻内視鏡は、経口内視鏡と比較して画質や解像度が劣り、それに伴って胃がんなどの発見率が劣る可能性が指摘されてきました。その後、技術の進歩で経鼻内視鏡の解像度は格段に向上し、さらに新たなプロセッサの開発も相まって経口内視鏡と同様の画質が得られるようになりました。そのため、内視鏡がん検診時のみならず、一般的な診療の現場でも有用性が期待される内視鏡となっています。

**健やかな生活を送るために
気を付けたいこと**

— 胃癌リスクは主に何でしょうか。

小澤 圧倒的に慢性萎縮性胃炎です。その慢性萎縮性胃炎の原因はヘリコバクター・ピロリ菌感染です。最近増えているというか、見つかるようになってきたのは、自己免疫性胃炎です。原因はわ

かっています。胃酸が出なくなってしまう病気です。結構多いです。医者が気付かないと見つけられません。慢性萎縮性胃炎の一因として注目されています。甲状腺疾患のある方で合併することがあります。

— ピロリ菌の原因は何でしょうか。

小澤 かつては不衛生な飲料水や食料品などが感染源として考えられていましたが、今は、ほとんどが経口感染です。母親がピロリ菌を持っていたら子供も持っていると考えられます。ピロリ菌は、ほとんどが5歳以下の幼児期に感染すると言われています。幼児期の胃の中は酸性が弱く、ピロリ菌が生きのびやすいためです。ですから食べ物に移しはしないことが重要です。

知っておくと役立つ知識

— 胃癌の内視鏡治療法について分かりますか教えてください。

小澤 早期胃癌の内視鏡治療は大きく分けて2種類あります。ひとつはループ状のワイヤーを腫瘍にかけて高周波電流を流す、内視鏡

がんを防ぐために

1. たばこは吸わない
2. お酒はほどほどに
3. バランスのとれた食生活を
4. 塩辛い食品は控えめに
5. 野菜や果物は不足にならないように
6. 適度に運動
7. 適切な体重維持
8. 定期的な検診を

バリウム検査それとも胃カメラ

バリウムによる胃透視検査ではピロリ菌感染の有無や早期胃癌もなかなか発見できません。ですから胃癌検診は透視ではなく、初めから胃カメラを選んでいただくと、検査も一度ですみますので心配であれば気楽にご相談いただければと思います。



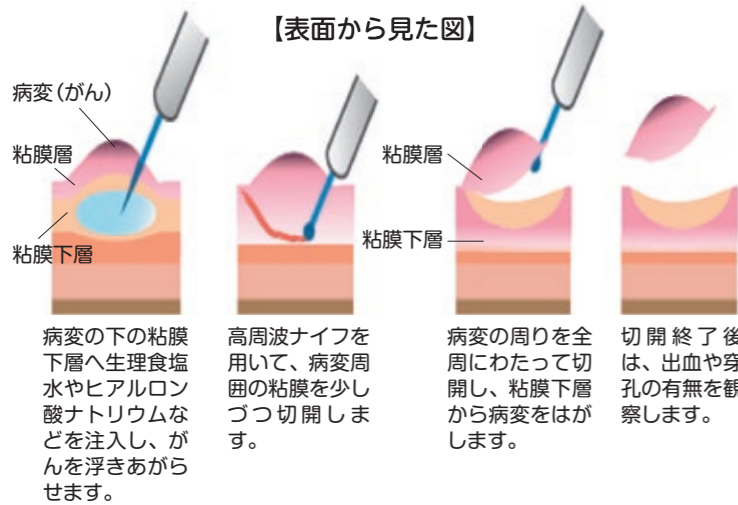
1年に1回家族のために胃カメラ検査をしましょう。

胃癌の発生原因 ヘリコバクター・ピロリ菌について

胃癌の発生原因は、1980年代後半に「ヘリコバクター・ピロリ菌」の慢性感染が原因だということが分かりました。また、治療法も早期胃がんは内視鏡で切除できます。予防のため、1年に1回は必ず、胃カメラ検査をしましょう。



内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)



内視鏡治療に内視鏡的粘膜下層剥離術があります。がんの大きさが2cmを超える潰瘍のない病変や、3cm以下の潰瘍のある病変でも行われます。



【犬山市住民健診】

| | | |
|--------------|--------------------------------|---|
| 胃がん リスク検診 | ABC 検診(ヘリコバクター・ピロリ抗体価、ペプシノーゲン) | 40 歳以上 国民健康保険の方：1,000 円 後期高齢者の方：1,000 円 社会保険の方：1,000 円 |
|--------------|--------------------------------|---|

※事前にさら・さくらへのお申し込みも必要になります。

< 予約受付時間 > 平日(月～金) 9:00～17:00 / 土曜 9:00～13:00

< 電話番号 > 0568-62-8246 (健診センター直通)

0568-62-8111 (病院代表)

kenkou@inuyamachuohospital.or.jp (健診センター直通)



的粘膜切除術(EMR)という方法です。もうひとつは高周波電流を流せる特殊なメスで胃粘膜下層を剥離する方法で、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)といえます。EMRは、ワイヤーがかかるサイズに影響され、通常2センチくらいまでの大きさの腫瘍しか切除できません。食道や胃で手術がEMRになることはあまりありません。ESDは専用メスを使用するため、腫瘍の大きさによる制限はありません。胃で最も早く2006年より保険収載され、次に食道で2008年、大腸で2011年より、国が認めた保険治療として現在では標準的に行われるに至っています。粘膜にとどまれば、最大で10cmくらいまで切除が可能です。EMRの弱点を克服した治療法がESDです。さまざまなナイフで粘膜を薄く剥いでいく技術が研究され、大きな病変でも一括で切除することが可能となりました。

——ポリプは切除すべきか放置してもいいでしょうか。
小澤 ものによります。健康診断で「胃ポリプを指摘された」「胃カメラ検査でポリプがあると指摘された」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。
結論から言いますと、ピロリ菌が関係しないと言われる胃底腺ポリプは、がんに変化する確率は低いとされています。胃底腺ポリプは、切除・処置を行わなくても問題がない、良性のポリプです。胃の粘膜に近い色をしていて、表面がつるつるしています。特に治療する必要はありませんが、1年に一度は経過観察として、胃カメラ検査を受けることをお勧めします。これに対し、大腸のポリプは切除します。ほぼ腫瘍なので

癌化していく可能性があるからです。経過観察の検査が重要です。
行政、地域住民、地域医療機関、介護施設等と信頼関係による連携医療の大切さ
——日々の診療で心がけていることはありますか。
小澤 とにかく患者さんから話を聞くことです。8割は聞くことで患者さんから納得していただくことを心がけています。欧米と日本では考え方が違うと思います。患者さんに説明し、話を聞かないと満足されないと思います。
——地域との連携はいかがですか。
小澤 地域連携室長も兼ねていることもあり、連携室のメンバーはともよく働いてくれています。紹介があった際は、必ず、紹介元へ2回、3回とフィードバックをし、顔の見られる関係を大切にしています。入院につながるよう努めています。そのおかげで年々、着実に紹介率が増えてきています。
——読者さんへのメッセージをお願いします。



余暇はどのようにされていますか。
オフは子供の送り迎えなどしたり、家族との時間を大切にしています。趣味としてクラシック音楽が好きで、海外へ行く際は、演奏会を目的に行くことが醍醐味です。オーケストラのトランペットやホルンなどの金管楽器の迫力は日本人には圧倒されます。最近では、飛行機の高さ、円安、物価高で行きにくいですが、(笑)また、好きな作曲家の一人にロシアのショスタコーヴィッチがいます。現代のモーツァルトといわれています。琴線に触れますよ。

小澤 健診の大切さをお分かりと思いますが、定期的に受けられる方と全く受けられない方にはっきり分かります。40歳になったらバリウム検査より内視鏡検査をお勧めします。ピロリ菌を除菌したらまず、胃潰瘍や胃炎になるリスクは激減しますが、胃癌リスクは絶対ないとはいえませんので、内視鏡検査は苦しくないように安心して受けられる体制が整っています。当院へご家族のために健診にお越しください。



健康管理センターからのご案内

●「特定保健指導」を受けてみませんか？

健診結果

腹囲：男性85cm・
女性90cm以上
または、BMI：25以上
※BMIとは肥満の程度を表す数値



一部対象者の方に健診後、保健師・管理栄養士が健診結果をもとに特定保健指導を行い、**ライフスタイルにあった改善策**をご提案します。
一緒にご自身の健康について考え直し、**生活習慣病発症のリスク**を減少させましょう!!



血圧の数値



血糖の数値



脂質の数値



喫煙の有無



【お問い合わせ】健康管理センター TEL.0568-62-8246(直通)



第19回 ごろまるだより表紙写真コンテスト 審査結果発表

この度もたくさんのご応募を頂きありがとうございました。ここに入賞作品3点を発表いたします。

募集テーマ：「紅葉狩り」



優秀賞(表紙採用)

撮影者：
林 優里様(犬山市)
タイトル：
「清秋の祈り」
コメント：
近年は何かと落ち着かない世情ですが、皆様が少しでも穏やかに過ごせますよう、お祈りいたします。



入選

撮影者：
柳井 雅之様(名古屋市)
タイトル：
「最後のライトアップ
曾木公園逆さ紅葉」



入選

撮影者：
熊沢 敏裕様(犬山市)
タイトル：
「紅葉の森林鉄道」

次回コンテストの
ご案内

ごろまるだより
冬号表紙写真

冬号テーマ：「お正月」 季節感にあふれる、皆さまの力作をお待ちしております。

締切：2024年10月31日(木) 17:00まで

★冬号は2025年1月上旬発行予定です。

お問い合わせ：広報兼医師採用・サポート課(広報誌担当) TEL：0568-62-8111(代表)

詳しくは
こちら



優秀賞・入選作品は大型写真にプリントし、当院1Fに展示いたします。また当院ホームページでもお知らせいたします。



地域連携支援センターからのお知らせ

台湾医療バランスト・スコアカード学会にて 総合犬山中央病院 地域連携支援センターの戦略を 発表してきました!

2024年5月18日(土)台湾 高雄市

小港医院にて医療バランスト・スコアカード学会が行われました。

当院から日本の医療の現状について報告し齊藤院長による「コロナ禍の病院経営戦略」と落合副センター長による「総合犬山中央病院 地域連携支援センターの戦略」の取り組みについて発表させていただきました。
看護師1名、事務員1名も同行し、学びを深めました。



「この地域で選ばれる地域連携支援センターになる!」という目標を達成できるよう一丸となって行動していきます。

この活動を通じて地域連携支援センターの
チーム医療の強化を図り、
地域の皆様に安心して
ご紹介いただける病院になれるよう
努力してまいります!

